

資料2 CCfA による声明

(「動く→動かす」注：本声明は、アフリカ市民協議会 (CCfA) による声明であり、日本の市民社会との討議・賛同を経たものではない。なお、本件声明の翻訳は、CCfA 自身が行ったものである)



TICAD IV 第4回閣僚級フォローアップ会合
2012年5月4-6日 マラケシュ(モロッコ王国)

アフリカ市民協議会 **TICAD 市民社会による声明**

TICAD は今から約 20 年前にスタートしました。アフリカ市民コミッション(CCFA)は、日本とそのパートナーがこの長い道程でなしえた大きな前進と努力に対し、称賛を送りたいと思います。CCFA は 2005 年から TICAD に参加しており、TICAD が成功したプロセスであると明言でき、また TICAD にならった他のプロセスが生まれることを期待します。TICAD の歩んだ長い道のりは、確かで具体的な軌跡を残しています。

アフリカの NGO として、これまでミレニアム開発目標のうちいくつかについては、進歩が認められ、目標達成に向けた十分な資金と、特に貧困撲滅への政治的意思によって結果が生み出されると確信します。しかし、これらのミレニアム開発目標の期限内の達成は難しくなっています。特に最も弱い立場にある市民に関連したミレニアム開発目標の一つ目(極度の貧困と飢餓の撲滅)、第 5.6.7 の目標(妊産婦の健康の改善、幼児死亡率の削減、HIV/エイズ、マラリアの蔓延防止)の達成は難しいものとなっています。また、普遍的初等教育の達成を掲げた第二の目標のように比較的達成しやすいものでも、卒業まで継続できているかどうか、また教育の質の問題は、私たちにとって大きな懸念です。

我々が TICAD V を前進させ、ポスト・ミレニアム開発目標に関する議論を推進するために、アフリカ市民コミッション(CCFA)は TICAD メカニズムに対して以下の提案をしたいと考えます。

1. アフリカの指導者たちは、アフリカン・ピア・レビュー・メカニズム(APRM)、アフリカによる開発のための新パートナーシップ(NEPAD)、開かれた政府イニシアティブ(OGI)など良い統治(グッド・ガバナンス)に向け、草の根レベルの共同体の基本的なニーズ(健康、食の安全、雇用創出)を満足させることに基づいた構造的な改革を実施することによって、民主的プロセスを前進させることが、必要かつ不可欠である。
2. アフリカの食糧と物価高騰の危機の問題について、農業、統治そしてキャパシティ・ビルディング(組織的な能力・基礎体力を形成・向上・構築すること)というアフリカにとって三つの優先分野を通して、取り組む。
3. ミレニアム開発目標のなかでも母子健康や教育といった ジェンダーに関連のある目標は、開発計画策定において女性の意見をより一層取り入れることを必要としていることを認識する。

動く→動かす (GCAP Japan)

事務局：(特活) アフリカ日本協議会
東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 2F
電話：03-3834-6902, Fax：03-3834-6903
電子メール：office@standup2015.jp
ウェブサイト：http://gcapj.blog56.fc2.com/



4. 女性はミレニアム開発目標の実施に関するすべての柱において、エンパワーメントの対象者としてだけでなく、行動の主体としてリーダーシップを発揮する必要がある。
5. アフリカ連合、AMCENの枠内でのアフリカの科学研究者、そしてUNFCCC、TICADの枠内でのアフリカグループの交渉関係者が、アフリカ諸国と気候変動、貧困撲滅、そして持続可能な発展計画・戦略について共同で作業することを強化する必要がある。
6. ミレニアム開発目標の第1に掲げられている「極度の貧困と飢餓の撲滅」、そして第5の「幼児死亡率の削減」には、最優先で資金が提供されるようにすべきである。
7. 2015年にミレニアム開発目標が達成されるためには、TICADは迅速に「新戦略」を打ち出すべきである。
8. TICADプロセスのもとで蓄積された専門知識は、プロジェクト、研修、専門知識や経験の共有を実施するための公的な協力窓口を持ったシステムを開始するのに値する。このようなシステムは、例えば学際的な研究機関を設立し、本部は日本に、そして4つの地域支部をウガンダ(TICAD 人間の安全保障研究所：TICAD institute for Human Security)、南アフリカ(TICAD 気候変動研究所：TICAD institute for Climate Change)、モロッコ(TICAD 人間開発研究所：TICAD institute for Human development)、ベニン(TICAD 食糧の安全保障研究所：TICAD institute for Food Security)を置くことが考えられる。日本政府とTICADの他のすべての共催団体は、疑いなくTICADをより目に見えるものとし、地域での存在感を大きくし、そして知識の蓄積を容易にし、災害を軽減・管理し、日本とアフリカの両方で効率性を向上させるこのようなシステムの構築に向けて努力すべきである。
9. アフリカの市民社会は、憲法の精神を尊重しない変更を非難する。そして、政府内での変革に対する支持をやめるよう、アフリカの内外のあらゆる関係者に対して呼びかける。
10. モロッコ政府に対し、アフリカ連合加盟国としての元来の地位のみならず、もともと有していたアフリカ連合内での指導的立場に戻るよう要請する。これはモロッコ王国は、地域統合プロセスを強化しており、アフリカの地政学上、非常に重要なリーダーシップをこれまでからとってきていることに由来した要請である。私たちは、自分たちの美しい、将来性のある大陸は、一体となって行動すべきであると信じる。問題は多様であるが、その解決は共同で、統一されたアプローチによってのみ可能であると信じる。

2012年5月6日 マラケシュ